

交野市教育大綱（2015年度から2019年度）

「教育百年の森」の実現 ～生きる力を養い多様性に富んだ人材の育成～

成果と課題

2016年1月に策定された「教育大綱」を根幹として、学校教育分野については「学校教育ビジョン」に基づき、また生涯学習分野においては「生涯学習基本計画」を策定し、教育百年の森の実現を目指した。

教育大綱策定から、これまで（令和元年）の間、交野の教育行政においても大きな変化の時であった。

学校教育では、小中連携から小中一貫教育への流れを着実に進め、新たな学びも積極的に取り入れた。

また、大きな課題である学校規模適正化においては一定の道筋を示すことができた。

また、新学校給食センターが整備され、これまで以上に質の高い給食の提供が可能となった。

子どもたちの安心安全、自然災害への備えが大きく取り上げられ、見守りシステムの構築などへも注力した。

学校教育が交野のまちの魅力の一つとなっている。

生涯学習においては、取り組むべき施策を体系的に進めるため、生涯学習基本計画を策定した。

星田会館への図書室移転など社会教育施策の充実に努めるとともに、文化財関係では、私部城跡を市指定文化財に指定した。

大綱に示された基本方針ごとの成果

☆ 誰もが希望と安心をもって学べる環境の創出

児童・生徒や家庭への支援体制の強化を図るとともに、就学援助の拡充など誰もが安心して学べる環境の実現に近づけた。

小学校では、一人ひとりの児童により目が届くように、府下でもあまり例のない全学年 35 人以下学級を実現したことなどにより、子どもたちは落ち着いた雰囲気の中で学校生活を送っている。

昨今、社会的問題ともなっているいじめの根絶に向け、こころとからだのアンケート調査により早期の把握に努めるとともに、いじめ基本方針を策定した。

学校給食では、食物アレルギーのある児童生徒も一緒に学校給食を楽しむように、アレルギー対応食の提供を開始した。

《主な取組み》

- 小学校全学年での 35 人以下学級編成
- SC(スクールカウンセラー)、SSW(スクールソーシャルワーカー)の充実
- いじめ基本方針策定、こころとからだのアンケート調査実施
- スクールヘルパー等の支援の充実
- 就学援助の拡充
- 学校給食のアレルギー対応食の提供

《今後の課題》

- 複雑化する家庭環境への対応、支援
- いじめ、虐待の根絶

◇ 情（こころ）を育み、確かな学びの実感

言語活用力の向上、外国語教育の充実、プログラミング教育の推進を三つの柱とする交野の小中一貫教育を進めた。

主体的、対話的で深い学びにつながる「交野スタンダード」による授業作りに努め、全国学力学習状況調査や大阪府のチャレンジテストにおいても、右肩上がりの成果が見られる。

《主な取組み》

- 小中一貫学園構想事業の実施
- 交野スタンダード、学力向上プランに基づく授業改善
- 教職員の先進校視察
- A L T（英語指導助手）の増員
- レゴ型ロボット、ペッパーを用いた実践型プログラミング教育実施
- 学校図書機能の充実整備

《今後の課題》

- I C T活用など新たな教育スタイルへの対応

◇ 質の高い教育環境の整備

四つの中学校区ごとに「目指す子ども像」を定め、小中9年間を見据えた小中一貫教育への取組みを進め、色々な形で小小間、小中間の交流が深まった。

学校施設では普通教室に続き特別教室へエアコンを設置するなど、快適な教育環境の提供に努めた。

少子化による小規模校の出現や、学校施設の老朽化と言う大きな課題に対応するため学校規模適正化に取り組み、一中校区では施設一体型小中一貫校整備に向けたスタートを切った。

子どもたちの安心安全の取組みとして、通学路を中心として100基以上の防犯カメラを設置するとともに、IoTを活用した新たな見守りシステムを構築した。

《主な取組み》

- 特別教室エアコン設置
- 学校規模適正化基本計画、学校施設等管理計画策定
- 登下校見守りシステム導入

《今後の課題》

- 計画に基づく施設整備の実施（経費、体制等）

◇ 誰もが集い、地域みんなで子どもたちを支える学校の実現

子どもの居場所づくりの一つとして、地域の力を借りながら、放課後の学校図書室開放やフリースペース事業を進めた。

小中学校指導者として地域人材を積極的に派遣した。

多くの地域の方に携わっていただき、登下校時を中心とした子どもたちの見守り活動が進められた。

《主な取組み》

- 学校図書室開放
- フリースペース
- 600件以上に及ぶ地域人材の派遣

《今後の課題》

- 人材の継続的な確保
- 学校運営への地域の参画

◇ 自然と歴史を通じたまちの発見

私部城跡について、その一部を市指定文化財に指定し、講演会の開催や解説パンフレット等により周知に努めた。

歴史民俗資料展示室（教育文化会館）では特別展や企画展も積極的に開催し、入館者数は年々増加している。

《主な取組み》

- 私部城跡の市指定文化財指定
- 歴史民俗資料展示室における特別展・企画展の開催

《今後の課題》

- 私部城跡の周知及び活用

◇ 生涯を通じたスポーツ・文化の振興

体育協会と連携し、市民スポーツデー等種々のスポーツイベントを開催するとともに、交野マラソンの開催を支援した。

ノルディックウォークを取り入れ、高齢者向けのスポーツ事業を実施するなど、健康寿命の延伸に繋がる生涯を通じたスポーツ活動を促進した。

文化芸術に触れ親しむ機会として、文化祭や文化教室を開催した。文化祭においては中学校文化連盟の発表を同日開催するなど新たな形を模索した。

《主な取組み》

- 交野マラソンの開催支援
- 高齢者の健康寿命延伸のためのスポーツプログラムの実施
- 新たな形での文化祭の実施

《今後の課題》

- 関係団体メンバーの高齢化
- スポーツプログラムへの幅広い年代の参加
- 文化祭を発展させた「生涯学習フェスティバル」の開催

参考資料

- 基本方針 取組み詳細
- 全国学力学習状況調査・大阪府チャレンジテスト 経年変化
- パンフレット・チラシ
 - 交野市の小中一貫教育
 - 学力向上プラン
 - 交野スタンダード
 - 学校規模適正化基本計画概要
 - 生涯学習基本計画概要